

蔵所写真工芸ニュース

平成30年3月05日発行 60号

特殊印刷奮闘記

腕時計のベルトに印刷してみました

● コラム ハロウィンは誰のために

● 蔵所写真館



※今回サンプルはありません。

VOICE

ハロウィンは誰のために

佐藤

本来は宗教色の強い祝祭であった10月31日のハロウィン。秋の収穫を祝う秋口に先祖の霊が家に戻ってくる際、一緒に付いてくる悪霊をはらうという意味合いがあったそうです。やがてその文化がアメリカに渡り、現在の形に近いお祭りに姿を変えてきたらしく、仮装をした子供達が「お菓子をくれないと悪戯するぞ」無邪気に練り歩く今の陽気な光景は、そのような意味合いから始まったようです。

昨年、私はハロウィンイベント中に開催されていたお化け屋敷に入りたが為に、友人と二人（おじさんペアで）ユニバーサルスタジオジャパンに行きました。私自身、仮装やお祭り騒ぎには大した興味も無く、年齢的にもあまり素直にはしゃげなくなっていたので、ずいぶんと場違いだったことでしょう。目的は有名な映画を題材にしたお化け屋敷の内容を知りたかっただけです。

驚いたことに、大雨の中で、本格的な仮装をした人たちが大はしゃぎ。雨に濡れる事さえも楽しみに変えて、皆いきいきとした笑顔をふりまっています。

しかし、その立派な仮装も上に着ている合羽でよく見えない。もはや仮装している理由も解らない。純粹さをどこかにほうり投げてきた私は、恥ずかしさもあり、一歩引いた姿勢でそんな光景を眺めていました。

「おいおい、あんた達、サンタの仮装は12月やろっ」
「いやいや、そんな、寒さに震えながらバニーガールって...」
「おにいさん、仮面ライダーは包帯を巻いたりはしませんよ。強いんやから」
「河童の恰好で合羽着るなよ」
「もう、ハロウィン関係ないやん。ただ大声をあげて騒ぎたいだけか」

「...一体、ハロウィンとは何やろっ、誰のためのものなんやろっ...」と冷めた心の中で呟きながら歩き続けていたが、やがてその熱気と若い人達の笑顔を見ている内に自然と顔が緩んできていた自分に気が付きました。私はここで、どこかに置いてきた感情を呼び起されてきたようです。

お揃いのジャック・オ・ランタンの仮装をした家族とすれ違ったとき、小さな男の子が足を

滑らし転びました。持っていたミニオンの顔の黄色いボールが落ち、ものすごい勢いで転がっていきます。とっさに私は傘を手放し人混みの中を走り、ボールを拾って戻りました。手渡したボールを笑顔で受け取る男の子に母親が「ありがとっ」言っただけ。と声をかけると、彼はカバンにさしていたロリポップキャンディーを私に差し出しました。

「キャンディー、どうぞっ！」
この瞬間、頭がくると回るような不思議な魔法にかけられた様でした。お菓子を与える大人から、お菓子をもらう子供に逆転した感覚。

「ありがとっ！」
といった私は、もう何の迷いもない笑顔になっていた気がしました。

ハロウィンは誰のためのもの？
こんな大人の為のもの。

キャンディーは自宅のテレビの横に今も鎮座しています。埃かぶって来たけど。



自転車置き場

ご覧の通り、スタッフのほとんどが近所に住んでいて自転車通勤です。不思議な物で自転車を見るとその人の生活環境が分かる気がします。



2Fの風景

頻りに弊社に来られるお客様の中でも2階を見たことが無い方も多いのでは？ 普段はここをスタッフ同士のコミュニケーションの場として使用しています。



外のBOX

弊社の駐車場の片隅に、営業時間外でもお客様との受渡しができるようにBOXを設置しています。是非、ご利用下さい。

蔵所写真館



特殊印刷奮闘記 腕時計のベルトに印刷してみました

文：小濱

弊社でもインクジェット機を導入しては
や8年、おかげさまで皆様からお声掛け頂
ける機会が増えてきました。
ノウハウが増え、今ではシール材料は勿
論、アクリル板、金属板など多様な材料へ
の印刷実績があります。一番の問題であっ
たインクの密着も新しい技術により、良い
方向へ向かっております。

そんなインクジェット機ですが、先程挙
げた材料は基本的にフラットなものばかり
で、印刷も割と簡単にできます。

問題は、凹凸のある材料に印刷する時で
す。凹凸のある材料の、凹の部分に印刷を
すると、機械の性質上、印刷の縁にインク
が噴いたような仕上がりになってしまい
ます。

また、凸の部分に印刷したとしても、凹
の部分との高さの差が影響し、UVランプ
が乱反射する事でトラブルの原因にもなり
ます。凹凸があつて、なおかつ反射しやす
い材料の際には、こういったトラブルが起



こる可能性が高まります。

今回は凹凸のある材料の中から、腕時計
のベルトの印刷を紹介してみたいと思いま
す。

■印刷する際の問題点と解決策

問題点① 印刷面に大きな溝があり、印刷
するとインクが噴くので印刷が乗らないよ
うにしなければなりません。

解決策 印刷がかからないよう溝にマスク
をしました。しかし、溝のサイズに合った
テープなどありません。増してや手で貼る
となると、あまりにも作業性が悪い。そこ
で逆に溝を活用し、溝にピッターはまるよ
うな蓋を作成して、これをマスク代わりに
しました。

これによって印刷は順調に進むかと思わ
れましたが、一回印刷する毎に、その蓋に
インクが積もり、ついには蓋の高さが原因
でインクが噴く事態に。よってこの方法は
ボツ。

現在では考え方を変え、データから溝部
分の印刷をカットして、インクが出ない様
にしました。試行錯誤はありましたが、ベ
ルトを正確な位置にセットする仕組みが整
った(後述)ので、問題の無い状態までも
って行く事ができました。

問題点② ベルトの裏面には凹凸があるの
で、普通に印刷台に置くと印刷面が坂のよ
うに斜めになり、印刷するとインクが噴く。

解決策 幸いにもベルト裏面の凸部が先端

付近にあつた為、アクリルの台を用意し、
凸部以外を台の上に固定し凸部は台の外に
逃がして、凸部のみ浮いた状態にする。こ
れにより表の面を平らにする。

問題点③ ベルト自体が手首に巻く形に丸
まっている為、印刷面を平らにキープ出来
るように押さえておく必要がある。

解決策 これが一番の難問でした。複数本
並べて同時に印刷するため、その中の一つ
でも何かの拍子にジグから外れて丸まると、
同時に刷った他のベルトが全てお釈迦にな
ります。

そこでベルトを真っ直ぐ固定する為のジ
グを作成しました。しかし現段階でもまだ
改善の余地がありそうなので、私たちも未
だにあれこれ考えて試しているところです。

問題点④ ロゴなどを印刷する際、ベルト
の中心位置を外すとかなり目立ってしまう
為、中心がズレないように正確に品物をセ
ットする必要があります。

解決策 スキャナで取り込んだベルトの外
形をデータ上でトレースし、そのデータを
印刷台にあらかじめ印刷します。その形に
合わせてベルトを置くことで、ある程度正
確な位置は出すことができました。これと
同じ様な方法でジグも作りましたが、ベル
トの成型にも個体差があり、なかなか一筋



縄ではいきませんでした。現在3代目ジグ
に変わり、まだ改善の余地はありますが、
とりあえず稼働しています。

ざっと挙げましたが、その他にも印刷デ
ータ作成時の問題など様々ありました。そ
の問題を一つ一つクリアしていき、現在進
行形で依頼を頂けるようになりました。

■まとめ

長々書いてきましたが、今回このお仕
事を頂き、弊社としてもかなりの経験をさせ

て頂きました。この積み重ねがより良い商
品をご提供できる要因となると思います。
とりあえずは何でも持ってきて頂ければ可
能な限りご対応させて頂きますので、今後
とも宜しくお願い致します。

